(19)日本国特許庁 (JP)

11 · ---

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-296307

(43)公開日 平成9年(1997)11月18日

(51) Int.Cl. ⁶		識別記号	庁内整理番号	FΙ			技術表示箇所
A41C	3/10			A41C	3/10	В	
	3/14				3/14	В	

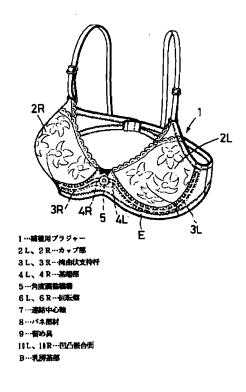
		審査請求	未請求 請求項の数3 OL (全 4 頁)		
(21)出願番号	特願平8-110939	(71)出職人	592203247 有田 光昭		
(22)出顧日	平成8年(1996)5月1日	(72)発明者	大阪市阿倍野区阿倍野筋2-2-23 有田 光昭 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-2-23		
		(74)代理人	弁理士 清水 久義 (外2名)		

(54) 【発明の名称】 補整用プラジャー

(57)【要約】

【課題】一つのブラジャーで、そのカップ部の相対的な配置状態を、使用者の好みに応じて任意に変えることができ、かつ体形の違い、望まれる乳房支持態様の違い等に対応し得る、一層汎用性の高いブラジャーを提供すること。

【解決手段】カップ部の下縁に乳房基部を支持する態様で封入配置をした左右一対の湾曲状支持杆の対向基端部同士が、相対角度を可変とする角度調整機構を介して相互に連結したものとする。



3

【0015】この発明によれば、図5に示すように、乳 房基部(B)を支持する湾曲状支持杆(3L)(3R) は、その基端部(4L)(4R)が、互いに対向して角 度調整機構(5)を介して連結されていて、上方向 (u) または下方向(d) に相対角度を調節することが できるから、これを任意の角度に留めることにより、カ ップ部(2L)(2R)を上方へ引き上げた状態(p) に補整できる。

【0016】さらに、上記の補整と同時に、湾曲状支持 杆(3L)(3R)の先端部($4^{-}L$)($4^{-}R$)は、 角度調節により、角度調整機構(5)を中心に円弧を描 くように移動して、カップ部(2L)(2R)を外側か ら中央方向へ引き寄せた状態に補整できる。

【0017】つまり、この発明の補整用ブラジャーで は、角度調整機構(5)を介して湾曲状支持杆(3L) (3R)を上方向に任意の角度で調整することにより、 カップ部(2L)(2R)は上方向かつ中央方向に同時 に調整され、その結果両乳房の位置を使用者の望む状態 に補整することができる。

【0018】なお、この発明で用いられる湾曲状支持杆 20 2L、2R…カップ部 は、従来からブラジャーのカップ部の下縁に沿って、包 み込み状態に縫い込まれたて、乳房の基部を下から支持 し、乳房形態を補整するのに用いられている、平型鋼 線、硬質合成樹脂コード等からなる薄肉状の支持杆を適 用することができる。

[0019]

【発明の効果】以上のように、この発明の補整用ブラジ ャーは、カップ部の下縁に乳房基部を支持する態様で封 入配置をした左右一対の湾曲状支持杆の対向基端部同士 が、相対角度を可変とする角度調整機構を介して相互に 30 連結されたものとしたから、一つのブラジャーで、その カップ部の相対的な配置状態を、使用者の好みに応じて 任意に変えることができるという効果があり、体形の違 いとか、望まれる乳房支持態様の違い等に十分に対応し た、一層汎用性の高いブラジャーとすることができると いう効果がある。

4

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の補整用ブラジャーの全体を示す斜視 図である。

【図2】この発明の補整用ブラジャーの要部を示す一部 10 切欠図である。

【図3】この発明の角度調整機構の分解状態を示す斜視 図である。

【図4】この発明の角度調整機構の組立状態を示す断面 図である

【図5】この発明の補整用ブラジャーの補整状態を示す 正面図である。

【符号の説明】

1…補整用ブラジャー

3 L、3 R…湾曲状支持杆

4 L、4 R…基端部

5…角度調整機構

6 L、6 R…回転盤

7…連結中心軸

8…バネ部材

9…留め具

10L、10R…凹凸嵌合面

B…乳房基部

【図3】 【図4】 10R

11/5/2007, EAST Version: 2.1.0.14

